

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年5月9日

山口県知事 様

提出者

住 所 山口県下松市大字西豊井字三谷屋1387番5

氏 名 周南共同生コン株式会社

代表取締役社長 古本誠一

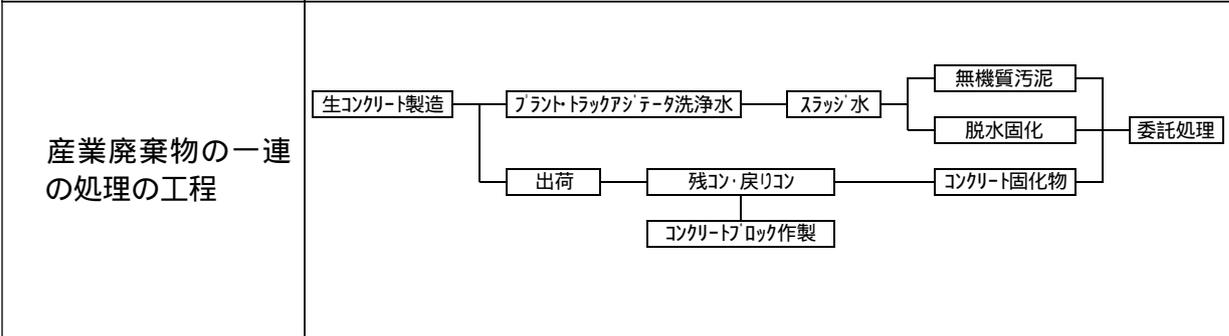
電話番号 0833-41-3561

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	周南共同生コン株式会社
事業場の所在地	山口県下松市大字西豊井字三谷屋1387番5
計画期間	2024年4月1日～2025年3月1日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

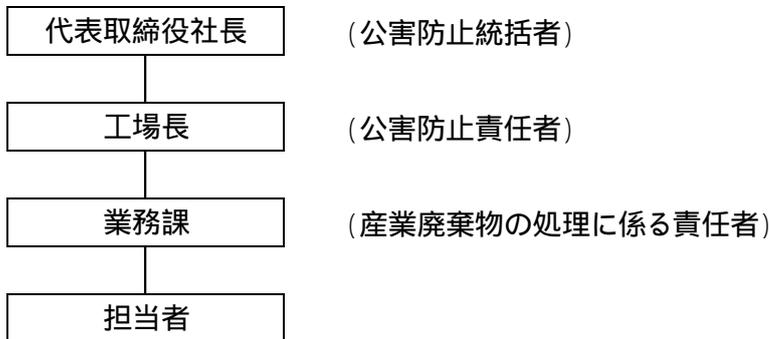
事業の種類	窯業・土石製品製造業 生コンクリート製造業
事業の規模	製造品出荷額 4億2400万
従業員数	8名



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物管理組織



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状	【前年度(2023年度)実績】 別紙2-1のとおり		
	産業廃棄物の種類	産業廃棄物の種類	産業廃棄物の種類
	排出量	排出量	排出量
	(これまでに実施した取組) 残コン・戻りコンを利用してコンクリートブロックを作製		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	産業廃棄物の種類	産業廃棄物の種類
	排出量	排出量	排出量
	(今後実施する予定の取組) コンクリートブロック作製用型枠を検討		

産業廃棄物の分別に関する事項

現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類毎に確実に分別、保管する。 コンクリート固化物とスラッジ水脱水固化物の分別。
計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後もこれまでと同様の取り組みを行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
現状	【前年度(2023年度)実績】		別紙2-1のとおり
	産業廃棄物の種類		産業廃棄物の種類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量
	(これまでに実施した取組) 残コン・戻りコンを利用してコンクリートブロックを作製		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		産業廃棄物の種類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量
	(今後実施する予定の取組) 残コン・戻りコンは可能な限り工場内で利用(コンクリートブロック作製)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
現状	【前年度(                      年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
現状	【前年度(                      年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
現状	【前年度(                      年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(令和6年度計画)

別紙2-1

多量排出事業者 名称	周南共同生コン株式会社	所在地(市町名)	下松市	事業の種類	窯業・土石製品製造業 生コンクリート製造業
------------	-------------	----------	-----	-------	--------------------------

区分	種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者を行う業者へ	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	
産業廃棄物	燃え殻																				
	汚泥	17	19									17	19			17	19				
	廃油	0.180	0.088									0.180	0.088			0.180	0.088				
	廃酸																				
	廃アルカリ																				
	廃プラスチック類	0.410	0.201									0.410	0.201			0.410	0.201				
	紙くず																				
	木くず																				
	繊維くず																				
	動植物性残さ																				
	動物系固形不要物																				
	ゴムくず																				
	金属くず																				
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	2,709	3,057	709	800							2,000	2,257			2,000	1,457				
	鉱さい																				
	がれき類																				
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん																					
13号廃棄物																					
計 (A)		2,727	3,076	709	800	0	0	0	0	0	0	2,018	2,276	0	0	2,018	1,476	0	0	0	

